

2019年11月発行

茨木御堂 第268号



真宗大谷派



茨木別院

(輪番 高木 文善)

〒567-0817 茨木市別院町3-31
TEL (072) 622-2903
FAX (072) 625-9445

真しんの知ち識しきにあり、こはかたきかなかになおかたし

「世のなか安穩なれ 仏法ひろまれ」

またしても日本は大災害にみまわれました。ごく最近では昨年の台風二十一号、今年の台風九号。そして今回の台風十九号は暴風よりも豪雨被害が甚大でありました。別院のある茨木も昨年の二十一号台風で大きな被害を被った地域です。

今回の大水害に際し、誠に悲惨な状況をニュース等で見聞きするにつけ、一体自分に何ができるのかと苦悶します。何日も経っている今でも、まだ被災された方々のニュースが入ってきます。それほどに甚大で被害の大きさが尋常ではなかったことを物語っていると思います。

ところで皆さんはこの災害をどうお受け止めになりましたか？中にはボランティアとして、身を投げ出して現地にはせ参じた方がいらつしやいます。救援物資を大量に送られた方もいらつしやいます。災害救援金に協力してくださった方もいらつしやいます。しかしその他大半の我々は結果的には何もしていません。中には真摯に気の毒に思い悲しんだ方もおられるでしょう。それも残念ながら結果的には何もしなかった方々です。

「世のなか 安穩なれ」と願うけれども、これほどに「安穩」でない状況はそんなにたくさん例を見るわけではありません。私たちの願いは全く届いていないのです。自然災害とはいえ誠に自分が悲しくてしかたありません。

「世のなか安穩なれ 仏法広まれ」の聖句は、親鸞聖人が関東のお弟子さんに送られたお手紙(御消息集)

の中で語られている一説です。親鸞聖人御消息集(広本)には全十八通が収められていますが、そのうちの七通目のものです。

悲惨な災害に対して、何もできない私は一体何もしなくていいのだろうか。

けれども「世のなか安穩なれ 仏法ひろまれ」の願いだけは最低限持ち続けなくてはならないでしょう。しかしこれも他人ごとのように受け止めていては願いになりません。結果的に何もしなかったことと、他人ごとにすることは同罪です。

親鸞聖人の第七通のお手紙では「念仏もうす」という意味の文言が十一回ほど出てまいります。前後を拾い出しますと、

『仏の御恩をおぼしめさんに、御報恩のために、御念仏、ここにいられてもうして、世のなか安穩なれ 仏法ひろまれと、おぼしめすべしとぞおぼえそろう』(訳文Ⅱ 仏さまの御恩を思つて、ご報恩のために、御念仏を心の底から称えて、世のなかよ安かれ、仏法よ広まれと念ずるのがよいでしょう。)

つまり、「世のなか安穩なれ」と願い、「仏法ひろまれ」と願うことは、ひとくくりのフレーズであって、私が念仏申すことをさしおいては、すべて他人ごとになつてしまうということでしょう。聞法を重ね念仏申し信心をいただくこと以外にこの大災害とともに歩む道はないのだとお示しをいただきました。

南無阿弥陀仏(輪番)

茨木別院関連ホームページ

茨木別院 ➔ ibarakibetsuin.or.jp

いばらき大谷学園 ➔ ibarakibetsuin.or.jp/kids/

真宗教団連合ホームページ

<http://www.shin.gr.jp/>

真宗教団連合

検索

茨木別院 行事ご案内

11月

●教如上人ご命日・同朋会(どうぼうかい)

日時 6日(水) 午後1時半より
会場 別院会館
講師 加藤 恵氏

●おみがきのご奉仕

日時 8日(金) 午前10時より
会場 別院本堂

●みほとけの歌の会

日時 11日(月) 午後1時半より
15日(金) 報恩講 合唱披露
会場 別院本堂

●報恩講

日時 14日(木)
15日(金) 詳細は5頁ご案内
16日(土)

●親鸞聖人ご命日・婦人会例会

日時 28日(木) 午後1時半より
会場 別院会館
講師 茨木別院輪番

12月

●教如上人ご命日・同朋会(どうぼうかい)

日時 5日(木) 午後1時半より
会場 別院会館
講師 加藤 恵氏

●みほとけの歌の会

日時 9日(月) 午後1時半より
会場 別院会館

●除夜の鐘・修正会

日時 31日(火) 午後11時半頃より
引き続き午前0時半より
本堂にて「修正会」のお勤め



*11月・12月の本山九日講は休講です

*12月の婦人会例会はお休みです

**11月13日(水)～16日(土)の月忌参りは
報恩講準備等の為、お休みさせていただきます。**

おみがきのご奉仕の案内

日時 十一月八日(金) 午前10時より

会場 茨木別院本堂

十一月に茨木別院の報恩講の法要が勤まります。法要にあたり、仏具の「おみがき」を行ないます。仏具をみなさんと綺麗に磨き上げて報恩講をお迎えしたいと思います。たくさんの方のご参加お待ちしております。

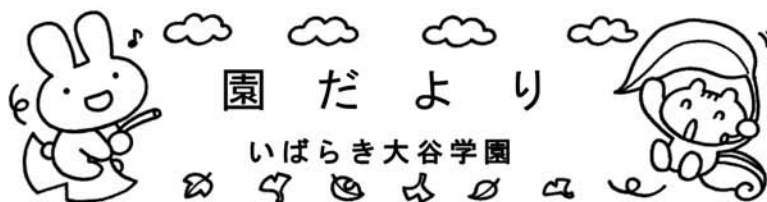
除夜の鐘・修正会

日時 十二月三十一日(火)

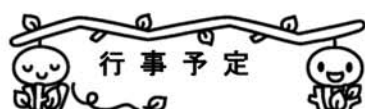
一月一日(水)

午後11時半頃より

十二月月三十一日、午後11時半頃より除夜の鐘撞きを行います。昨年は地震の影響もあり中止となりましたが今年は開催する予定です。また鐘撞き後、一月一日午前零時頃より修正会のお勤めを行います。一年の終りと始めをお寺でお迎えしましょう、お待ちしております。



ようやく残暑の厳しさから抜け出られた今日この頃、つい先日(10月初旬)子どもたちと出かけた散歩道でチラホラと花を咲かせている金木犀を見つけました。残暑ばかりに気が向いていた筆者に、自然が「ちゃんと秋は来ているよ」と教えてくれたようで、とてもほっとしたひと時でした。さて、園では11月、12月も色々と楽しい行事が続いていきます。体調管理に気をつけながら、子どもたちと共に楽しんでいきたいと思っています。



11月 1日(金) 動物村
6日(水) 年長組みかん狩り
14日(木) 報恩講園児参拝
18日(月) 誕生会(11, 12月合同)
19日(火)~20日(水) 内科検診(予定)
22日(金) 消防訓練

12月 4日(水) おもちつき
17日(火) 終業式
18日(水) 音楽会リハーサル
19日(木) 音楽会
29日(日)~1月3日(金)
年末年始休園



園庭開放とあそぼう会のお知らせ

いばらき大谷学園では未就園のお子さんを対象に園庭開放やあそぼう会を実施しています。気候もよくなってきましたぜひお出かけください

《園庭開放》

11月…7日(木)・11日(月)
25日(月)・28日(木)
12月…5日(木)・9日(月)
16日(月)

《あそぼう会》(要予約)

11月12日(火)・12月12日(木)

《誕生会》(要予約)

11月18日(月)…11・12月合同



例年ならば12月頃から流行期に入るインフルエンザが、今年は異例の早さで流行が始まっているようです。免疫力をアップさせてインフルエンザに対抗する身体づくりを目指しましょう。おすすめ食材としては“小松菜”があります。β-カロテン、ビタミンC、ビタミンEがとても豊富な上、これから旬をむかえるので手に入れやすくなります。油との相性もいいので、「おひたし」だけでなく炒めものにしてもおいしいです。あとは、インフルエンザの予防接種となりますが、予防接種を受けてもかかることがあります。しかし、重症化を防いでくれますので、小さいお子さんやお年を召した方には接種をおすすめします。

茨木別院では11月14日~16日まで報恩講が行われます。14日には園児も参拝します。皆さまどうぞお越しください。



園長の一言

●好奇心

霊長類といいますが、生物学的観点から見れば、サルも人も同じ種に属すると言われています。その中でチンパンジーが人間に最も近いサルの仲間(種)になります。人間に一番近いチンパンジーと人間との決定的な違いがあるのは、子育ての期間がチンパンジーは短くて、人間の子育ては非常に長い期間が必要だということです。チンパンジーは生まれてすぐに歩けるし、親サルと同じ行動がすぐに出来るようになります。人間の赤ちゃんは歩きだしたり、ことばが出るようになるには、ほぼ一年以上かかります。チンパンジーの寿命はほぼ五十年だそうです。子どもが生める体に成長するのは十年だそうです。人間の体はそうはいきません。人間の赤ちゃんは子どもの期間がかなり長くなります。人間はもともとサルの仲間ですが、長い間の自然への順応と進化の結果そのようになったのだと思います。注目すべきは、チンパンジーは短い子どもの期間、親ザルや群れに囲まれ自然の中で戯れ(遊び)ながら短い子どもの時期を過ごし一人前のチンパンジーに成長するのです。

さて、この話で大切な教訓があります。チンパンジーよりもずっと長い人間の子どもの時期をどう過ごさせるのかということとであります。昔のことわざに「七歳までは神の子」というのがあるそうです。このことわざは七五三にまつわることわざだそうですが、私の保育の恩師である先生が、「八歳までは神(大自然)の子」と言いかえて私に保育の話をしてくださったことを思い出します。八歳は昔の八歳で今は六歳のことです。つまり小学校へ入学する前、幼児教育の時期と一致します。この時期は大自然に育てられる時期で、自由に遊ぶことを主体に置き、自由奔放に遊ぶことを中心に、不自由さや制約を与えない遊び

が必要な時期なのです。ある発達心理学の先生は、それは六歳ではなくてむしろ八歳なんだとおっしゃいました。小学校二年生までは遊びを主体に置いた日常が子どもの正常な育ちには必要だとおっしゃっていました。つまり、発達心理学では小学校一年生から教科授業をするのはまだ早いのだともいっておられました。チンパンジーが赤ちゃんもしくはこどもの時期を大自然の育み(はぐくみ)の中で育ていくように、人間の赤ちゃんも少なく見ても六歳までは神(大自然)の子として育てなければいけないとその時思いました。

この度、吉野 彰さんがノーベル化学賞を受賞されることになりました。インタビュの中で何度もおっしゃったことは、「好奇心」というワードです。好奇心なるものは、教えるという営み、あるいは遊びを強制するような場面で養われるものではありません。もちろん遊びの環境や場は大人(もしくは保育者)が準備するものですが、その中で子どもがたくましい創造力を発揮し、できるだけ制約のないところで、自らが主体的に遊ぶことで、数えきれないほどそこに散らばっている面白いことに子どもの好奇心が増幅されることによつて好奇心というものは養われていくものであります。もしあなたのお子さんに好奇心やそれを支える興味や関心を身につけさせてやりたいとお思いなら、子どもにとって本当に面白い遊びを主体に置いた日常を過ごさせてあげることが一番大切だと思います。

そんな時、いつも耳にするのは「どうして遊ばせていいのかわかりません」です。そんなのは子育て放棄というものです。もし保育者でありながら「どうしてそのような保育をしているのかわかりません」というのは保育放棄です。「どうして」という部分に最大の努力を傾注しなくては、結局は子どもの育ちを阻害してしまっていることになるのではないのでしょうか。

園長(高木 文善)



2019年度

茨木別院 報恩講 ご案内



11月14日[木] ~ 16日[土]

日	時 間	報恩講日程	備 考
14日 (木)	13:30 15:00頃	逮夜のお勤め 法 話 御伝鈔拝読	園児合同礼拝 (10時)
15日 (金)	7:30 10:30	晨朝のお勤め 日中のお勤め 法 話	婦人会とわかば会によるおぜんざいの接待 (日中のお勤め後、本堂縁側にて) 茨木御坊みほとけの歌の会 合唱 (12時頃)
	13:30	結願逮夜のお勤め 御俗姓拝読 法 話	御参向：藤原 忍 師 各別院輪番拝礼
16日 (土)	7:30	結願晨朝のお勤め	
	10:30	結願日中のお勤め 法 話	御参向：藤原 忍 師



講 師 武 宮 信 勝 氏 (天満別院輪番)

講 題 「凡愚に帰れ」

*14日/逮夜、15日/日中・結願逮夜、16日/結願日中の計4座ご法話いただきます。

みほとけの歌の会 報恩講 合唱曲

今年も茨木別院報恩講 15日(金)
日中のお勤め後12時頃より合唱
曲を披露していただけます。是非日
ごろの成果を聞きに来てください。

曲 目
・優しいあの子 ・法の深山(3番・4番)
・旅ゆくしんらん(1番・3番・5番)
・報 恩 講 ・○△□のうた 以上



九月二十八日(土) 昨年に続き、茨木市駅周辺を会場として“茨木ジャズクラシックフェスティバル二〇一九”が開催されました。茨木別院の本堂を会場としてクラシックを中心に演奏されていました。内陣をバックに荘厳な雰囲気、観客のみなさんも聞き入っていました。

茨木ジャズクラシック フェスティバル二〇一九

敬 弔

ご生前のご遺徳を偲び、謹んで哀悼の意を表します。(敬称略)

記

法名 浄光院釋一念
俗名 大島 一公
八十六歳

法名 釋尼香美
俗名 仲辻 美代子
九十二歳

法名 歡喜院釋尼智照
俗名 北野 喜美
九十八歳

法名 釋尼清靖
俗名 日野 靖子
八十九歳

法名 釋尼唯敏
俗名 多々見 敏子
八十五歳

編集後記

報恩講を迎える季節になりました。今年もまだ、御殿・書院等、使用出来ない施設がある中での報恩講になります。不便をおかけすることになりますが、皆様のお参りをお待ちしております。

岡崎 康祐

「おみがき」をすると煌びやかに真鍮の仏具が輝きます。しかし、別院本堂の仏具は大変大きく、また重たい為に力仕事となります。是非多くの方々のお手伝いをお待ちしております。

墨林 尚顕

毎年、茨木別院の報恩講にて、みほとけの歌の会さんより合唱曲の披露があります。毎月一回集まって熱心に練習されており、毎年素晴らしい発表をされています。是非みなさん聞いてみて下さい。

竹内 明人

株式会社 花 廣

茨木市大手町一二一八
☎(〇七二)六二二一二四〇二

— 生花・供花・けいこ花 —